



ム サシ カツヒロ
武藏 勝宏

Katsuhiko MUSASHI

講演

学術調査

コメンテーター

所属・職名 政策学部政策学科／総合政策科学研究科 教授

研究分野 立法過程論、シビリアンコントロール

研究活動 議院内閣制では、議会の多数派が内閣を構成することから、内閣は議会に提出した法案を与党の協力によって容易に成立させることが可能となる。しかし、第二院である上院で与党が多数派であることは保証されず、分裂議会(ねじれ国会)がしばしば生じうる。この場合、上院の権限の強弱によって、内閣の提出した法案成立の成否が影響を受ける。そこで、中程度に強い二院制の日本と中程度に強い二院制と弱い二院制の中間のイギリス、強い二院制のオーストラリアとの比較分析を行うことで、二院制の問題の解決方法を研究している。

主要な業績
(著作・論文・研究発表)
武蔵勝宏,立法過程の変化—野田政権から安倍政権へ, 北大法学論集,第64巻第6号,2252-2288頁,2014年
武蔵勝宏, 政権交代後の立法過程の変容, 国際公共政策研究,17巻2号,11-27頁,2013年
武蔵勝宏, 民主党連立政権下の立法過程, 北大法学論集, 61巻第6号 2161-2196頁,2011年

社会活動・その他 衆議院安全保障委員会参考人(2015年4月)
参議院外交防衛委員会参考人(2015年5月)

所属学会 日本公共政策学会元理事、日本法社会学会会員

キーワード 二院制、安保法制

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/104061/104061_Researcher.html